

**特定非営利活動法人atamista**  
**2023年度(2023年4月～2024年3月)事業計画書**

**VISION・アウトカム目標**

- 2030年のATAMIを担う事業を創出する
  - 新規事業立ち上げ件数:【目標】3件(累計27件)
- 起業家が次々と生まれ育つエコシステムを形成する
  - ファン :【目標】400人
  - サポーター :【目標】新規33人(累積103人)
  - プレイヤー :【目標】22

**事業内容**

1. オンパク事業
2. 事業支援
3. 海と食の地域モデルin 熱海
4. 災害復興
5. 小山臨海講演 指定管理事業(応募・準備)
6. 視察受入

---

**1. オンパク事業**

- アウトカム
  - 事業化や活動の自立化件数 【目標】3
  - コミュニティ活性化
  - チャレンジを応援する・ファン・サポーター・プレイヤー コミュニティ形成
- アクティビティ
  - オンパク手法による体験交流型プログラムの実施
- アウトプット:
  - チャレンジ創出
    - 体験コンテンツのチャレンジ件数: 【目標】30
    - 体験コンテンツの今後の継続件数: 【目標】20
    - 参加事業者数:【目標】20
  - ファンの獲得
    - 参加者数:【目標】200人
    - 参加者満足度:【目標】90点以上
    - ファンクラブ累積登録数:【目標】400人
    - 体験コンテンツや参加事業者のメディア露出数:【目標】10
  - ステークホルダーの巻き込み
    - サポーター数:【目標】10
    - 業界団体等の協力団体数:
      - 【目標】4(熱海市、熱海市観光協会、熱海商工会議所、熱海温泉ホテル旅館協同組合)
    - コーディネーター数:【目標】4
  - 活動の継続性
    - machimoriと連携したビジネスモデル構築
- インプット
  - スタッフ数:【目標】1名
  - 外部パートナー:株式会社machimori
  - 支出 :【目標】0千円

---

## 2. 事業支援

- アウトカム【目標】
  - 地域課題を解決する事業の創出数:3
  - その個々の解決プロジェクトを核にコミュニティが形成される
  - 地域の起業家や事業家の発掘・育成だけでなく、企業も巻き込み、そのコミュニティと支援者のネットワークが形成される
  - 参加者・協力者すべてにとって価値を感じられるように気づきや学びの機会となるようにする
- アクティビティ【目標】
  - GeNSEnをmachimoriと共同で実施
    - 企業研修
    - 事業開発コーディネート
- アウトプット:
  - 地域課題解決プロジェクトのチャレンジ件数:【目標】6
    - GeNSEn PBL(Project Based Learning)長期プログラム:
      - 【目標】4
    - 個別企業の事業開発支援:
      - 【目標】3
    - 新規メンター数・ヒアリング協力者数:【目標】100名
  - 参加企業数(地域) : 【目標】4社
  - 参加企業数(地域外企業): 【目標】10社
  - 調査等の大学・研究期間連携:【目標】1
- 期間
  - 12ヶ月
- インプット
  - スタッフ数: 【目標】1名
  - 外部パートナー:株式会社machimori
  - 支出 : 【目標】138千円

---

## 3. 海と食の地域モデルin 熱海

- アウトカム
  - 多品種小ロットの未活用魚の価値化を行う「熱海干魚ベース」を拠点に、未活用魚という課題そのものの解決に加えて、熱海の海の豊かさや課題を知り、自ら行動し学びを深める地域人材を育てる。
  - 海への興味を持ち自主的に学びを深めたり、事業として取り組もうという人材や教育現場、団体の可視化・育成・接続を行う。
- アウトプット
  - 未活用魚給食の導入園や出張授業を増やすとともに、現在製作中のカードゲームの教育機関導入を目指すなど、教育との連携を強化。日常的かつ継続的に海と触れる機会を創出し、海の問題を知り行動する人を増やす。
  - 加工品や学びのツール(カードゲーム)などを本格的に販売に転換し、商品を通じた市内外への「未活用魚」の認知度向上やブランディングに着手する。
  - 飲食店・小売との連携は店舗数を増やしポップアップ実施などを目指す。
- 成果物
  - 1 イベントチラシ、リーフレット等コミュニケーションツール
  - 2 取り組みやプログラムの開催報告及び写真、動画(個人情報に配慮した上でWebサイトやSNS等に掲載)
  - 3 加工品、教育キット等の成果物
  - 4 メディアでの掲載

- 5 プログラム参加者(小学生)の感想文等
- 6 報告書
- アクティビティ:
  - 1. 地域の小学生に向けた体験プログラム
    - (1)時期:2023年5~6月
    - (2)参加者:親子10組程度、行政、メディア、漁業関係者等
    - (3)場所:静岡県熱海市
    - (4)内容:
      - a. 事業趣旨や2023年度の事業内容について説明
      - b. 漁港見学・蓄養餌やり体験、未活用魚さばき体験等
  - 2. 飲食店・教育機関給食・小売業連携
    - (1)時期:2023年5月~2024年3月
    - (2)参加者:900名
    - (3)場所:静岡県熱海市の飲食店・魚屋20店舗、保育園3カ所等
    - (4)内容:
      - a. 未活用魚を使った加工品やメニューの開発
      - b. 未活用魚を使ったメニューの提供を通し、地域の海に関する課題を発信
      - c. 海のごちそうフェス・ウィークとの連携
  - 3. 教育機関向けプログラム実施及び研修事業
    - (1)時期:2023年5月~2024年3月
    - (2)場所:熱海市、市内教育現場
    - (3)参加者:市内幼稚園~中学校の教職員60名、小学生30名
    - (4)内容:
      - a. 熱海の魚や海を学べるカードゲームの出張授業
      - b. 教員現場におけるカードゲームの活用方法に関する教員研修
- インプット
  - スタッフ数【目標】1名
  - 外部パートナー
    - 合同会社TURNER、1031デザインワークス、ナレッジストック
  - 支出 :【目標】14,830千円

#### 4. 災害復興

- 中期アウトカム
  - 【伊豆山】
    - 地域の持続可能性が高まる。豊かなコミュニティ・自立し循環する経済・共助があり、心身ともに“健康”な暮らしができる環境ができている。
    - 結果として、伊豆山を離れてしまった方も戻って来なくなる、戻ってこれる地域となる。
  - 【伊豆山以外の他の地域】
    - 熱海市内の他地域、あるいは、伊豆半島・静岡県内・東海地方の他の地域で、このように地域の持続可能性が高まった地域が複数できってくる
- 短期アウトカム
  -

短期アウトカム	指標	目標
地域の方々が孤立せず、コミュニティへの所属感を持っている	NPO法人テンカラセンの・コミュニティカフェのつながるチケットの販売枚数累積	180 5,000人

	・コミュニティカフェの累積来客数	
関係人口や地域のプレイヤーが増え、地域の事業所ができ、雇用が生まれる	・取り組みの結果生まれた事業所数 ・取り組みの結果生まれた雇用創出数 ・取り組みの結果生まれた関係人口数	1 1人 50人
災害にも強く持続可能で自立した地域づくり	・省エネ・創エネ事業のプロデュース事業プラン作成 ・地域資源を活用した商品やサービスの開発件数 ・取組みによる伊豆山への移住者の増加	1件 1件 1人

○

● アクティビティ・アウトプット目標:

アウトプット	指標	目標
被災者支援と居場所づくり	・テンカラ新聞の発行部数 ・聞き取り調査の実施対象者数 ・コミュニティカフェの営業日数	2万部 50人 180日
エリアのプレイヤーと関係人口創出	・伴走支援対象者数 ・ワークショップ参加者数 ・事業プラン数 ・体験プログラム件数	1 1人 50人
地域の持続可能性向上	・省エネや創エネの事業プラン作成 ・地域資源を活用した商品やサービスの開発 ・移住等希望者の相談の実施件数	1件 1件 1人

- 期間: 12ヶ月
- インプット
  - スタッフ数: 【目標】2名
  - 外部パートナー: テンカラセン・株式会社machimori・マチモリ不動産
  - 支出 : 【目標】 12,554千円

5. 小山臨海公園 指定管理事業

● アウトカム【目標】

項目(※数字は累積合計)	2023	2024	2025	2026	2027
アウトカム(チャレンジ目標)	-	-	-	-	-
ツーリズム商品が生まれる		1	2	3	5
小山臨海公園での教室が生まれる		3	5	10	10
小山臨海公園の利用団体が増える	30	50	65	100	150
各利用団体のメンバー数が増える	0.0%	5.0%	10.0%	10.0%	15.0%
日常的な公園利用が増える	1,000	1,500	2,000	3,000	5,000

移住者増・関係人口増	100	200	300	400	500
空き家の活用数増	1	3	5	7	10
起業家・会社の創出	1	1	1	2	3

● アウトプット【目標】

項目	参加プレイヤー数	参加者数	実施回数
1-1. 南あたみ文化祭 オープンデー・発表会	10	100名	1回
1-2. 南あたみ文化祭 マルシェ	10	400名	2回
1-3. 南あたみ文化祭 体験ツーリズム プログラム	5	100名	6回
2. 交流・トークイベント「南あたみのつかいかた」	10	50名	2回
3. 文化活動・アートの場として活用・トークイベント	7	30名	1回
合計	42団体	680名	11回

○

● アクティビティ・アウトプット【目標】

項目	回数
アクティビティ	15回
南あたみ文化祭 オープンデー・発表会(シンコースポーツ・体育協会で実施)	1回
南あたみ文化祭 マルシェ	2回
南あたみ文化祭 体験ツーリズム プログラム実施回数	回
アウトドアオフィス実験	1回
トークイベント・ワークショップ	2回
企業研修・アート利用・飲食店出店等の利用促進のための営業	随時

● 期間: 12ヶ月

● インプット

- スタッフ数 【目標】2名
- 外部パートナー: シンコースポーツ株式会社 / NPO法人熱海市体育協会 / 一般社団法人ミーツバイアーツあじろ家守舎 / 熱海未来広場 /
- 支出: 【目標】 3,668千円

6. 視察受入

● アウトカム【目標】

- 視察や講演団体の事業課題の解決のヒントが得られ、事業が改善する
- 熱海ファンが増える

- アクティビティ・アウトプット:
  - 視察・講演【目標】48回 450人
- 期間:12ヶ月
- インプット
  - スタッフ数【目標】1名
  - 外部パートナー: リノベリング、リディラバ、ETIC.、東海若手起業塾、株式会社 machimori
  - 支出:【目標】689千円